

水泳競技 競泳 監督者会議資料（案）

1 競技について

- (1) 本競技会は、2023 年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は予選 10 レーン、決勝 8 レーンで、タイムスケジュールどおりに実施する。
- (3) 決勝は、予選の結果上位 8 名が出場できる。ただし、棄権者（棄権チーム）が出たときは、次点上位から順次出場権を与える。
- (4) 50m・100m・200m種目および 4×50mのリレー種目の決勝進出について、同記録で予定人員を超えた場合はスイムオフを行う。リレー種目のスイムオフは、予選と同メンバー・同オーダーとする。
- (5) 400m種目および 4×100m・4×200mのリレー種目の決勝進出について、8 位が 2 名（チーム）の場合は、決勝で 8 レーン・0 レーンを使用し、8 位が 3 名（チーム）の場合は、決勝で 8 レーン・0 レーン・9 レーンを使用する。レーンの配置は抽選で決定する。
- (6) 補欠は 2 名（2 チーム）とし、補欠が同記録で複数いる場合は抽選を行う。
- (7) 招集は競技開始 10 分前から行う。本人確認のため、招集所には AD カード・国民体育大会選手カードを持参すること。招集所受付で、AD カード・国民体育大会選手カードの確認、水着の確認を行う。
- (8) 予選を棄権する場合は、所定の棄権届出用紙に記入し、当日の予選競技開始 20 分前までにリゾリユーションデスクに届け出ること。時間内に届け出をしなかった場合は、棄権料 3,000 円を徴収する。また、無断で棄権した場合は、さらに罰金 3,000 円を徴収する。決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後 1 時間以内にリゾリユーションデスクに届け出ること。
- (9) 公式計時 S E I K O による計時バックアップは、水中バックアップシステムを使用する。
- (10) 競技成立後は、個人種目・リレー種目とも、折返監察員の指示によりプール横から退水すること。決勝 1 位の選手ならびに 1 位のチームは自レーンから退水し、フラッシュインタビューを受けること。
- (11) 選手紹介は、予選は入場後に紹介する。決勝は、入場ゲート前で、氏名・都道府県名の紹介を受けてから入場すること。
- (12) リレーオーダーは、下記の時間までにリゾリユーションデスクに提出すること。

1 日目・9 月 22 日(金)		2 日目・9 月 23 日(土)		3 日目・9 月 24 日(日)	
予選競技	決勝競技	予選競技	決勝競技	予選競技	決勝競技
9 : 30	14 : 00	9 : 15	14 : 10	9 : 15	12 : 45

- (13) 本大会は上訴審判団を設置する。
- (14) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用されるので、常に AD カード・国民体育大会選手カードを携帯すること。

2 全体スケジュール

日 程	事 項	選手控所 開場時間	プール 開場時間	予選競技		決勝競技		閉門時間 (予定)
				開始時間	終了時間	開始時間	終了時間	
9 月 21 日(木)	公式練習日	7 : 30	8 : 00	8 : 00 ~ 18 : 00				18 : 15
9 月 22 日(金)	1 日目	7 : 00	7 : 15	9 : 30	12 : 20	14 : 00	17 : 45	18 : 25
9 月 23 日(土)	2 日目	7 : 00	7 : 15	9 : 15	12 : 15	14 : 10	18 : 00	18 : 40
9 月 24 日(日)	3 日目	7 : 00	7 : 15	9 : 15	11 : 40	12 : 45	16 : 00	17 : 00

開始式 9 月 22 日(金) 9 : 15 ~ 総合表彰式 9 月 24 日(日) 16 : 10 ~

3 表彰について

- (1) 1 位～ 3 位に賞状を授与し表彰する。4 位～ 8 位に賞状を授与する。
- (2) 表彰時において、小旗・タオル・県旗等の持ち込みは禁止する。
- (3) 賞状の受け渡しは、賞状引渡所で行う。

4 プールの使用について

(1) メインプール

- ① 水深 2 m、水温 27.5 度に設定する。
- ② 練習は 3 日間とも 9 : 00 までとする。
- ③ 昼休みの練習は、当日の決勝出場者のみとする。
- ④ 0・9 レーンをダッシュレーンとする。0 レーンはスタート側からの一方通行、9 レーンは折り返し側からの一方通行とする。
- ⑤ 8 レーンをペースレーンとする（クロールのスイムでのみ使用可）。ただし、ダッシュレーンは利用状況により、大会本部が別途設定し、通告・電光表示板で指示を行う。
- ⑥ パドル・コード類の使用を禁止する。
- ⑦ 公式スタート練習は行わない。

(2) サブプール (25m×8 レーン)

- ① 水深 (両サイド 1.2m、中央 1.3m)、水温 27.5 度に設定する。
- ② ダッシュレーンの設定は行わない。
- ③ 2 レーンをペースレーンとする（クロールのスイムでのみ使用可）。
- ④ パドルの使用については、安全面に十分留意すること。コード類の使用については、他の選手・コーチの妨げにならないよう十分留意し、1 レーンでのみ許可する。

5 その他

- (1) 全ての競技者は、競技終了後、予選・決勝を問わずミックスゾーンを通り退場すること。
- (2) 招集所・選手控室にモニターを設置する。
- (3) 公式掲示板を、選手用として鴨池公民館（1階ロビー）、一般用としてメインプール2階外部デッキに設置する。
- (4) プログラムは 2,000 円で販売する。
- (5) 決勝スタートリストは 200 円で販売する。また、各都道府県には 5 部ずつ、1 階エントランスホールに設置する都道府県用レターケースに配布する。
- (6) Eテレ（NHK教育テレビ）の LIVE 放送予定について
22日(金) 15:00~16:40、23日(土) 14:30~16:50、24日(日) 15:00~16:00
- (7) 競技結果を、以下の公式サイトにて確認することができる。
 - ・SEIKO競泳リザルト速報サービス (<http://swim.seiko.co.jp/>)
 - ・日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<https://sp.j-swim.jp/>)

6 注意連絡事項

(1) 会場使用について

- ① 監督・チームスタッフのADカードは、選手控室（勤労青少年ホーム）脇にあるテント内の受付で配布する。そこで、顔写真を貼付し、選手控室に移動する。選手のADカードは、選手控室（勤労青少年ホーム）あるいは選手控室（鴨池公民館）の受付で配布する。そこで、ADカード裏面に、顔写真を貼付した国民体育大会選手カードを入れて、選手控室に移動する。競技会場にいるときは、常時首から下げて提示する。18歳未満の選手は、保護者（親権者）の署名を必要とする。
- ② 国民体育大会選手カードについては、受付（選手・監督）において事前確認を行う。最初に出場する予選競技の招集までに、事前確認を終わらせること。万一紛失した場合は、受付（選手・監督）において再発行の手続きをすること。
※国民体育大会選手カードの顔写真は、必ず糊付けをすること。
- ③ 選手・監督・チームスタッフのプール入退場は、1階：選手・監督入口からとする。
- ④ 一般入場の入退場は、国道 225 号線側階段から上がり、2階正面スタンド側入口からとする。朝の入場は、全日程とも 8 : 15 からとする。

- ⑤ 撮影許可証は必要としない。ただし、撮影時には以下の注意事項を順守すること。
- ア. 会場内では、指定された場所（観覧席）で撮影すること。
 - イ. フラッシュを使用しての撮影は厳禁とする。
 - ウ. 不審な撮影行為は、場内司令員・警備係が事情聴取をし、場合によっては警察に通報する。不審な撮影行為を見かけた場合、場内司令員・警備係に連絡し協力すること。
 - エ. 個人情報保護法に抵触しないよう十分に注意すること。
- ⑥ 事前に指定された駐車場に、各都道府県3台までの駐車を可能とする。
- (2) 選手控室について
- ① 選手控室はエリアを指定する。
 - ② 選手控室の敷物等は整理整頓し、ごみの処理を徹底すること。
- (3) 選手応援席について
- 都道府県を、参加選手数により9ブロックに振り分ける（選手応援席割り当て図）。移動通路は、最上部を利用すること。選手応援席は、日ごとにローテーションを行う。
- (4) マッサージスペースについて
- マッサージスペースは、鴨池公民館2階会議室とサブプール奥の2カ所とする。公式練習日の開場時から最終日まで利用できる。鴨池公民館指定エリア内にはマッサージベッド1台、人数は2名までとする。サブプール奥については、マッサージベッド37台を置くスペースしかなく抽選とする。いずれも控え場所としての利用はできない。選手控室にマッサージ台を置くことは問題ない。
- (5) 更衣室について
- 更衣室は更衣のみの使用とし、ロッカーは使用できない。更衣室内を控え場所としたり、飲食をしたりすることはできない。マッサージベッド・敷物等の持ち込みは禁止とする。置き荷物は、忘れ物として扱う。競技会終了後、残った忘れ物は処分する。
- (6) 貴重品について
- 持ち物や貴重品は各都道府県で管理し、盗難には十分に注意すること。万一盗難が発生した場合、大会本部はその責任を負わない。
- (7) ごみの処理について
- 競技会場で支給された弁当・ドリンクのごみは、指定された場所で回収する。その他のごみは、全て持ち帰ること。